

月刊

# 書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No49～

平成 29 年



10 月号

一般社団法人日本書字文化協会機関紙  
編集長 渡邊啓子

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-13-26 第一岡ビル 3 階

電話 03 - 6304 - 8212 FAX03 - 6304 - 8213

E-mail info@syobunkyo.org



## 目次 (全 22 ページ)

- ・中央審査会などが開催されました ( 9 / 23 中野)
- ・コラム「こころ」 書文協会長 大平 恵理
- ・書文協向こう 1 年の活動方針
- ・東・西・南・北 在バンコク 下村 かおり
- ・おしらせ「書文協本部が 12 月から移転」
- ・出版案内
- ・第 6 回全国書写書道伝統文化大会案内
- ・第 3 回書文協臨書展実施要項
- ・出版物案内、注文書

秋恒例 9/23 東京・中野

## 中央審査会、会員総会、懇親会開く

毎年恒例の秋の中央審査会は9月23日、東京-中野ゼロホール(中野区立もみじ山文化センター)で行われました。第6回全国書写書道総合大会の学生書写書道展と全国硬筆コンクールの審査を行うもので、加藤東陽中央審査委員会委員長、大平恵理書文協会会長ら中央審査委員10人、各地教場から招いた審査専門委員5人が厳正審査に臨みました。

同大会は3つのコンクールから構成されています。参加資格が小学3年生以下に限定されている「平成29年度ひらがな・かきかたコンクール」(応募者8,500点)の審査は既に行われ、審査結果は書文協ホームページに掲載されています。この日は、同年度全国学生書写書道展(席書参加者933人、公募757点)と同全国硬筆コンクール(応募4,359点)の審査が行われました。

総合賞を含め審査結果は、10月中旬に発表の予定。優秀作品の展示と出品者交流会は11月5日、浅草公会堂で行われます。



(写真は審査会打合せ)

これに先立ち、29年度の会員総会が行われ、書文協のこの先一年間の活動方針について意見が交わされました。その結果も踏まえ、目下公開できる活動方針概要について、4~5ページに掲載しています。

また、審査会後に同ホールのもみじ茶屋で懇親会が開かれました。遠く九州から来られた3人、大阪の2人など各地の書塾指導者らが、書写書道教育の権威者である中央審査委員会委員の先生方と忌憚ない意見を交換。和やかな談笑の輪ができました。



「

」

ろ

大平 恵理(書文協会長)

### PTAの勧め



忙しさを理由に、娘たちの学校行事には授業参観もPTAもほとんど逃げてきた私ですが、上の娘が高校に入ったのを機にPTAの学年委員に立候補しました。このままでは、娘たちの学校生活も終わってしまう、母親としてやるなら今しかない、と反省したからです。「忙しいから代わりに俺に出ろ、なんて言うんじゃないぞ」と、夫にクギを刺されてのスタートでした。

都心部のある都立高校。もう数度、PTAの集まりに顔を出しました。夏休みのある日も打合せに出かけました。会長さんが言いました。「貴女に注目してたのよ。きれいな字を書くわね」。話してみると、なんと会長さんは書道の先生でした。おまけに、聞いてびっくり。都内でも数少ない書道専科の先生がいらっしゃるというのです。それなら娘の部活は体育系でなく書道部を選ばせれば良かった、と悔やみましたが、いずれにしる娘の自由ですから仕方がないか。

PTAの集まりで一番心に響いたのは、皆いろいろな立場からPTAに参加していることです。冷戦状態の娘を理解しようとPTAに参加している人の話は、年々難しくなってくる我が子のことを思い、身につまされました。皆、余裕がない中で必死の思いで出てきています。働く母親たちのために、参加しやすいPTAづくりが大事だな、と思います。

さて、あまり難しいことは考えない私ですが、書写書道の普及には、まずPTAの意識を盛り上げていくことだな、と思いました。学校と地域・家庭の呼吸が合って初めて生徒のためになるカリキュラムが編成されると思います。偏差値主導の教育を望んでいる親は少ないのではないのでしょうか。そういう考えがP(ペアレント)からT(ティーチャー)に伝わり、共に進んでいけるといいなと思います。その中から、書写書道教育に取り組む必要性も認識されていくのではないのでしょうか。

皆さん、お忙しいでしょうがPTAに参加しましょう。

# 書文協活動方針

平成 29 年 10 月—平成 30 年 9 月

中野ゼロホールで 9 月 23 日に開かれた会員総会で、書文協本部から向こう 1 年間の活動方針案が説明され、議論されました。そこであげられた改善点などを踏まえ、書文協活動方針として次の点を発表します。さらに検討が必要な項目については 10 月半ばまでに決定し、発表の予定です。

## 【検定ライセンス改革】

### ＜新硬筆検定の充実を図る＞

楷書と行書コースを一本化した新設の新硬筆検定(硬筆課題検定)の充実を図る。同検定テキスト(全 15 巻)の完成を急ぐ。七巻を 8 月末に出版、30 年 4 月に 15 巻を刊行し完了する。

新硬筆検定の審査は、これまでの 5 段階評価ではなく、その単元で求められる「評価の観点」を 6 割以上(後半は 7 割以上)クリアしているかどうかで「合否」判定する。検定試験は偶数月に行われ、受験課題数に制限はつけない。ポイント添削を行い返却するので受験料は 1 課題 500 円(税抜)～。(課題番号によって異なる。)教場の学びとリンクするように本部も工夫する。段級・ライセンス付与は従来の方式でなく、独自とする。

従来の検定コースは維持する。ただし、硬筆のその他の検定コースについて、テキストの販売を 30 年 2 月で終了する。このため現行テキストのコピー使用をみとめる。在庫をしたい場合は、30 年 1 月までに書文協に購入を申請していただく。教科書の送付は注文から 2 ヶ月後となる。

## 【講習会】

### ＜地域要望型講習会の実施＞

講習会は地元教場(複数の場合は総意)にできるだけその形の内容で実施する。例えば硬筆あるいは毛筆どちらかのみ、半切の練習、大会課題の練習、検定準備中心など。

講習費は以下の通りとする(29 年 10 月現在)

一コマ(2時間当たり)

幼～中学生	2,300 円
高校・大学生	3,000 円
一般	3,500 円

ただし、講習会内容により変更することができる。

## 幅広い年齢層の指導者の育成>

指導者ライセンスは、同取得講習会を東京、大阪、福岡、仙台で年間一度は開催する。

教え合い・学び合いを推進する力としてジュニアリーダーの育成を目指し、同講習会に小学5年生以上の受講を認める。

講習会参加料は次の通り

中学生以下	5,400 円
高校生以上	10,800 円

## 【全国書写書道大会】

### <顕彰方法を工夫する>

全国書写書道大会は基本的に旧来型の表彰式は行わず、優秀者作品の展示、交流会の開催、在籍校、地教委への顕彰依頼の送付などに工夫を凝らす。

ただし、伝統文化大会は3年に一度、旧来型の表彰式行う。第5回大会を起点とし、次回は第8回表彰式(平成32年、2020年3月)とする。

展示交流会はできるだけ東京以外の都市でも開催する。第7回総合大会の展示交流会は大阪、第9回同は福岡での開催を目指す。

ひらがなかきかたコンクールの審査結果発表を、本賞と特別賞の2段階発表方式とする。本賞は8月末までに発表し、賞状・副賞も届ける。特別賞は他の2コンクールと同時とする。(人によっては本賞・特別賞を2回受賞することになる)

以上

# 東・西・南・北

下村書写教室バンコク主宰 下村かおり（在バンコク）  
「先生の犬」と生徒達



バンコクに暮らし始めて、かれこれ17年になる。この先も恐らくずっと此処で暮らしていくのだろうと感じる今日この頃だが、そもそも、長期滞在者になったのには理由がある。それは16年前の「運命的な出会い」に始まる。

ある日私は道ばたで、誕生直後に母犬を亡くした小さな小さな命に出会ってしまったのだ。それが初代の教室犬「ピーポー」と「モモ」。今は2代目「クック」と「ちゃいろ」が継いでいる。私の大事な相棒である。

タイは首都と言えども、当時はまだ多くの野良犬が暮らしていた。昨年、崩御されたプミンポン前国王陛下も野良犬を保護、飼育していた程の愛犬家であったお話は有名である。かくして「私の犬」になった子犬たちは、すくすくと賢く育ち、楽しい事も悲しい事も分かち合ってくれる素晴らしい相棒となった。

タイには、保健所による野犬狩りは無い。その代わりに野良犬が繁殖する。私の犬も元を正せば「野良犬」で、道ばた出身である。この話を教室の生徒にすると、大抵びっくりされる。なぜなら大抵の日本人はタイの犬は全て狂犬病だと思っているから。でもそれは間違っているんだよ。出所は道ばたでも、ちゃんとワクチンしてダニ、フィラリア予防をすれば普通に飼えるんだよ、と話してあげると、「先生の犬」に興味津々になる生徒達。新入会で緊張している子も「先生の犬」の写真やビデオを見てニヤける（笑）。

世知辛い世の中になってしまったとは言え、動物には人の心を優しくする力がある。たまーに教室にもお目見えする「先生の犬」。今は2代目の「クック」「ちゃいろ」がみんなの人気者。

教室の生徒達にも、犬に触れる事で動物をかわいいと感じる心が育ってくれたら、と願わずにはならない。

## 下村書写教室バンコクについて（編集部注）

母親が16年前、現地で立ち上げた教室を継ぐ2代目。子ども専門の教室として「正しく、整った、クセのない字」を基礎から指導している。また、継続する力を養い、礼儀礼節を教え込むことにも力を注いでおり、現地邦人社会では定評がある塾。2017年夏に行われた日本武道館主催「高円宮杯」では硬筆の部で6人が日本武道館奨励賞を受賞、優良団体賞を受賞する成績を挙げ、下村も表彰式に招待された。イラストは同教室のアイドル「クック」（左）と「ちゃいろ」。書文協会会員。バンコクでの電話 092-662-1651

平成 29 年 12 月 1 日から

# 書文協本部は移転します

現在地 東京都中野区中野 2-13-26、第一岡ビル 3 階

新本部 東京都中野区中野 2-11-6、丸由ビル 3 階

(〒は共に 164-0001、電話、ファクス番号、IT アドレスも変わりません)

電話 03-6304-8212 ファクス 03-6304-8213

ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

E メール [info@syobunkyo.org](mailto:info@syobunkyo.org)

現在地から 100 メートルほど中野駅寄り、同駅南口から徒歩 3 分です。同地域一帯の再開発の動きに合わせたものです。教室は狭くなりますが、これを契機に、クラス編成、カリキュラムを整備します。

従来の方針である少人数クラスによる個別指導の一層の充実が目標です。詳細につきましては保護者様とも個別相談の上、移転までに発表いたします。

また、近くの中野ゼロホール(区立もみじ山文化センター)施設を有効活用した講習会なども併設します。現在、遠隔地の生徒のために月 1 回、参加者事前指定制で実施しています日曜日特別講習会も、中野ゼロホールで、より広げた形での実施を検討しています。

本部移転により、シニアのエレベータ昇降による教室通いなどの便宜もあります。皆様のご了承を、よろしくお願い申し上げます。



## — 作文教室生徒募集 —

作文教室は 9 月から、ゼロホール西館学習室 A を拠点に、毎週木曜日 18:00-19:30 に開いています。若干名の募集を行います。年齢不問です。希望の方は書文協本部、渡邊啓子にご連絡ください。

講師は日本記者クラブ会員、書文協専務理事、谷口泰三です。

2020 年からの文部科学省の大学入試改革に象徴されますように、思考力、判断力、表現力育成に重きを置いた学校教育になってまいります。言葉と密接な書写書道の学びは、この流れに即したものであり、言葉、表現講座の充実を進めます。

# 新硬筆検定テキスト 第7巻を発売

完成発売!

## 楷書・行書・草書を身につけ「硬筆師範」に

これまで硬筆（鉛筆やペン）の検定は、楷書と行書（共に 120 課題）の 2 コースに分かれていました。これを新硬筆検定（硬筆課題検定）として 1 本化しテキスト「えんぴつ・ペン文字練習帳」（15 巻）を発行中です。7 巻では途中から行書の学びが登場します。実用的書写である硬筆の普及を図るため、学び易く、かつ深く学ぶ工夫をしたものです。この検定を学べば、楷書にも行書にも通じ、硬筆の極致である草書も学ぶことができます。120 課題を終了すると硬筆師範の称号が与えられます。7 巻は 8 月末に刊行されました。吉見出版より購入できます。

## 検定の進みに応じて段・級を付与

検定テキストは 15 巻シリーズ（書文協出版部刊、各巻 8 課題、各巻 600 円+消費税）で、各巻とも学年標準制を取っています。1 巻は小学 1 年生標準、7 巻は中学 1 年生、10 巻は高校 1 年生標準です。これは難しさの順で、一般でも 1 巻からやるのを原則とします。検定の進みに応じて段・級が付与されます。「継続する力」が個人のポテンシャルティ（潜在能力）として求められる昨今、段級の記録は自己推薦入試、AO 入試などで高く評価されるでしょう。

## 編入試験で学びを継続

しかし、すでに行書はこれまでのコースで何番まで S あるいは A 評価を取っているなど、進行しているケースが多いと思います。その場合は編入試験を行い、教場の指導者とよく相談して特別判定し、編入巻を決めます。

## 検定受験に課題数制限なし

新硬筆検定の検定料は 1 課題 500 円（税抜）～。（課題番号によって異なります。）検定作品は書文協本部からワンポイント添削付きで返却されます。

判定は、それぞれの課題で定められた「評価の観点」に合格したか、あるいは不合格かで示されます。不合格再チャレンジを含め、偶数月に実施される検定に課題数の制限はありません。成績、学びのポイントは各教場の先生と書文協が連絡を密にして対応します。



幼児からシニアまで、大平恵理の手書き文字で

# 硬筆練習帳市販3部作そろろう

書文協では、実用的な書写として硬筆にも力を入れています。書文協出版部で制作・発売中の検定テキスト「えんぴつ・ペン文字練習帳」（前ページ参照）とともに、大手出版社より市販練習帳の発刊にも取り組んできました。このほど朝日新聞出版より、シニア向け練習帳が刊行され、幼稚園・保育園児ら幼児から高齢者まで使える3種類がそろいました。

## はじめてのえんぴつれんしゅうちょう

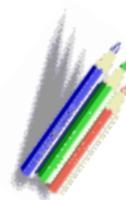
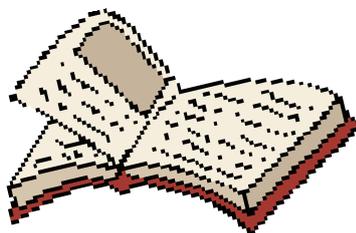
角川出版が平成28年2月、刊行。127ページ、本体950円+消費税。まず正しい鉛筆の持ち方、姿勢を徹底的に練習。縦線、横線、グルグル巻きの練習から文字に入ります。楽しいイラストも満載。

## ドラえものの国語おもしろ攻略「きれいな字が書ける」

小学館が平成27年10月、刊行。191ページ、本体850円+消費税。人気のドラえもんが書写書道教室の先生（モデルは書文協？）と共にスネ夫やジャイアンらに手書きを教えます。

## 脳活ペン字練習帳姉妹編

朝日新聞出版社は平成29年1月20日、「脳活ペン字練習帳」を刊行、その続編として4月20日「脳活ペン字**実用**練習帳」を全国の書店で売り出しました。ともにAB版、104ページ、本体740円+消費税。手書き文字が脳の活性化に役立ち、知的好奇心を刺激する巧緻（こうち）な手書きが若さを保ち、幸せな生活を招く脳活ペン字。東北大学加齢医学研究所の瀧靖之教授と大平恵理・書文協会長の対談も掲載されている異色の本で、シニアを中心に反響を呼んでいます。



# 第6全国書写書道伝統文化大会案内



★平成29年度全国年賀はがきコンクール★

★平成29年度学生書き初め展覧会★

**応募締め切り 平成30年1月19日（金）書文協事務局必着**

主催 一般社団法人日本書字文化協会（書文協）  
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構  
後援 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、  
全国高等学校長協会、全日本書写書道教育研究会  
（いずれも予定）

## 大会の目的

この大会は、日本の伝統文化を強く意識するものとして「年賀」と「書き初め」を取りあげるものです。年賀はがきコンクールは硬筆、書き初めは毛筆で書いていただきます。各コンクールとも文部科学大臣賞をはじめ参加者全員に賞を授与するほか、両コンクールともに優れた作品の出品者に総合賞として伝統文化大賞を授与します。参加料は冊子8ページにあります。

## 主催者紹介

書文協は日本語の継承発展を目的に書写書道の普及を図る非営利型一般社団法人です。共催の文字・活字文化推進機構は、平成17年に与野党一致の議員立法で成立した文字・活字文化振興法に基づき設立されました。

## 応募作品送付・連絡先（12月1日以降）

書文協本部（大会事務局）は平成29年12月から、下記に移転します。  
〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6 丸由ビル3階  
電話 03-6304-8212 FAX03-6304-8213（これまでと同じ）  
ホームページ <http://www.syobunkyo.org>（問い合わせメールホームも）

# 伝統文化大会の特色

## 特色 1 指定課題、参考手本があります

両コンクールとも指定課題があり、この冊子 4-7 ページに課題一覧があります。全国年賀はがき大会は指定課題のみ、学生書き初め展覧会は指定課題と自由課題の部があります。

参考手本は 10 月半ば、書文協ホームページに掲載します（3 ページにサンプル掲載）。ダウンロードして自由に使えます。印刷の毛筆手本（A3 に縮尺）は 1 枚 100 円で販売します。揮毫者は毛筆、硬筆ともに「用美一体を究めた平明な書風」と評価される大平恵理（書文協会長）です。硬筆の手本（原寸大）は 1 枚 30 円、大会応募用紙は 1 枚 10 円です。送料はご負担下さい。

## 特色 2 「評価の観点」が発表されます

書文協では、「止め、はね、払い」など文字を書く上で身に付けて欲しいルールを 50 項目の「評価の観点」に分けました。検定試験ではこれが守られているか、順を追ってチェックしています。大会では指定課題に沿ってこの観点をワンポイントで明示した「評価の観点」書を 11 月初め、ホームページで公表します（3 ページにサンプルを掲載）。手本の上に書き込まれており一目瞭然の手引書となっています。審査ではどこがチェックされるのかを明示するものでもあり、大会参加が書の具体的学びに直結します。個人応募者はもちろん、各教室でも大会応募の補助資料となるでしょう。

## 特色 3 全国規模の腕試し・・・権威ある審査委員が厳正に

大会の命は審査です。書文協中央審査委員には書写書道教育の権威者がそろっています（10 頁に委員一覧表）。流派を超えた公正な審査が行われます。

## 特色 4 園・学校・地教委顕彰の充実

学校教育で基礎を教え込まれた児童・生徒が書写書道を生涯学習とする受け皿の一つになることを目標としています。このため、書塾を大切にすることはもちろん学習指導要領準拠、学校教育の下支えは書文協の大事な理念です。優秀作品については出品者の園・学校あてに連絡、また地元の教育委員会に連絡します。校長先生のお話など、何らかの形で受賞者が顕彰されることを願っています。

## 特色 5 園・学校応募に特典

幼稚園・保育園、学校単位で応募される場合、優遇措置を取っています。大会参加者一人につき、参考手本、年賀はがき応募用紙（書文協作成）2 枚を無料提供しています。年賀はがきは日本郵便はがきでも応募できますが、材質を統一して書きぶりに差が出ないようにするため応募用紙を作成しています。送料は各自負担。

# 大平恵理プロフィール



氷田光風氏らに師事。書写の実用性と書道の審美を併せ持つ平明で美しい書風は、専門家から「用美一体を極めた文字」として評価されています。若いころから、全国書写書道大会の毛筆・硬筆お手本や検定試験手本の揮毫を担ってきました。一般社団法人日本書字文化協会代表理事・会長。

主な市販著書にいずれも硬筆練習帳の次の4冊がある。幼稚園・保育園児ら幼児を対象とした「はじめてのえんぴつ れんしゅうちょう」(KADOKAWA角川書店、) 本体 950 円+消費税)、小・中学生向けの「トフスもん囃ひ学習シリーズ、きれいな字が書ける」(小学館、本体 850 円+消費税)、成人向けの「脳活ペン文字練習帳」(朝日新聞社出版、本体 740 円+消費税)「脳活ペン文字練習帳実用編」(朝日新聞出版、本体 740 円+消費税)。

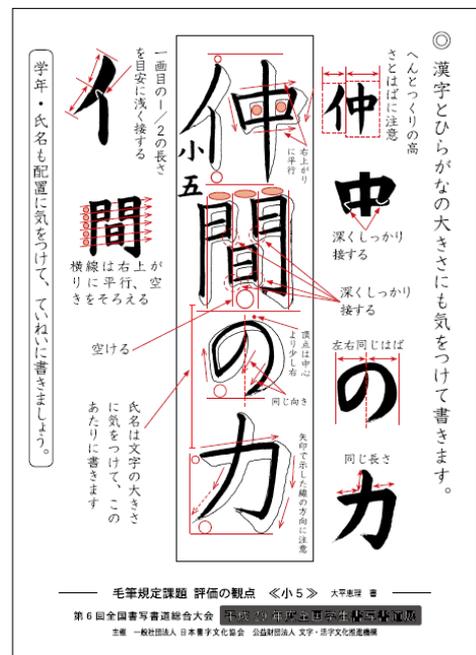
## 参考手本サンプル

(第 6 回総合大会：学生書写書道展 小5)

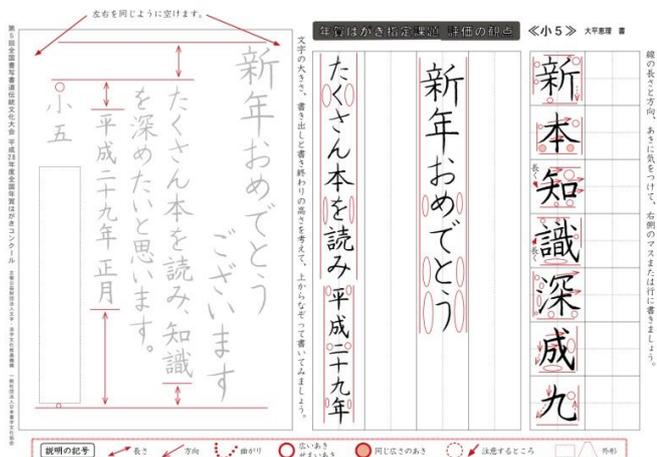
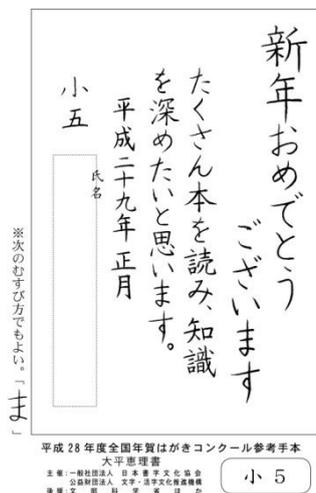
※伝統文化大会  
書き初め展覧会の  
指定課題は、幼年  
から小2までは半  
紙サイズです。



## 「評価の観点」の例



(第 5 回伝統文化大会：年賀はがきコンクール 小5)



※練習もできるプリントになっています。

# 指定課題一覧

## 指定課題共通テーマ「今年の抱負」。

日本では古くから、正月にお年始の風習が盛んでした。旧年中の交流を謝し、新年を祝い、今年の抱負（決意）を述べ、一層の交流を願うのです。遠方の相手などには手紙で年始を代用することが慣例となったのが年賀状・年賀はがきです。

書き初めは、初めて文書を書く宮中の行事として始まりましたが、新年に改まった心で抱負（決意）を書く行事の意味合いが強くなりました。

書文協では、両コンクールともに、新年の改まった気持ちを書いていただく機会として、共通テーマを「新年の抱負」としました。決意、目標は自分にとって前向きで、世の中のためにもなることが大切です。とくに中学生以上では「おおよげ（公）」の為になることを意識した課題文を多くしました。

### 表記上の注意点

#### ①筆記具

年賀はがきは、えんぴつかペンで書くことができます。書文協では、えんぴつ以外ではプラスチックペンを推称しています。

#### ②氏名

ひらがな・漢字表記を原則としますが、応募者に事情がある場合は、カタカナ、アルファベットも使えます。教室生は教室指導者を通して書文協本部に問い合わせてください。就学前幼児は、名（ファーストネーム）だけでも可です。

#### ③原文表記との違い

原文が漢字でも指定課題はひらがな表記の場合があります。学習指導要領では古文に親しむことが奨励されており、歴史的仮名遣いは一部で残しました。散文では句読点を伏しました。

#### ④書き初め自由課題の原則

(イ) 各教科書会社が出版している書写教科書に掲載されている書き初め手本の文言は、共通テーマ「今年の抱負」になじむものと見なしますので、それらを自由課題の文言として使って結構です。

(ロ) 用紙は縦書き、縦使用とします。文字によって表現することとし、審査は、止め、はね、払いや点画、配置の良さなどを考慮して行われます。自由課題の部も学年配当漢字など学習指導要領に準拠します。

(ハ) 自由課題の部は、指定課題を異なる用紙で書いたものを含め計 5 点まで出品できます。そのうち最も優秀な 1 点に賞が授与されます。小学生漢字は学習指導要領が定める学年配当漢字を原則とします。総合大会では学年前を基準としましたが、伝統文化大会は学年末に近い大会であることから、該当学年配当の漢字を使用することができます。

## 年賀はがきコンクール

- 幼児（年少年中） つくる
- 幼児（年長） おめでとう
- 小1 おめでとう  
きちんとあいさつ  
三十年正月  
小一 氏名
- 小2 おめでとう  
たくさんの本をよみます。  
三十年正月  
小二 氏名
- 小3 あけましておめでとう  
朝ごはんをしっかり食べます。  
三十年正月  
小三 氏名
- 小4 新年おめでとう  
ございます  
たくさん星ざをおぼえたいと思います。  
平成三十年正月  
小四 氏名
- 小5 新年おめでとう  
ございます  
みんなで仲良くするよう話し合います。  
平成三十年正月  
小五 氏名
- 小6 明けまして  
おめでとうございます  
自分の考えを持って、多くの人の意見を聞きます。  
平成三十年正月  
小六 氏名

中学（楷書、行書同一） 明けまして  
おめでとうございます  
歴史や公民の教科をよく  
学んで、日本のことをし  
っかり勉強します。  
平成三十年元旦  
中一、二、三 氏名

高・大・一般（行書） 謹賀新年  
手書きの意義を理解し、  
日本語を継承発展させ、  
伝統文化を守ります。  
平成三十年元旦  
氏名

## 書き初め展覧会

幼年（年少一年長）半紙	つ
小1 半紙	かつ
小2 半紙	よむ
小3 八ッ切	明るく
小4 八ッ切	字を書く
小5 八ッ切	日新の志
小6 八ッ切	信じる仲間
中1行書 八ッ切	上善如水
中2行書 八ッ切	限界に挑む
中3行書 八ッ切	至誠天に通ず
高校 半切	<漢字の部> 百尺竿頭進一步 <かなの部> 日本が ここに集る 初詣

大学 半切 <漢字の部>  
善不積 不足以成名 悪不積 不足以滅身  
<かなの部>  
新しき年の初めにかくしこそ  
千年をかねて 楽しきを積み

## 第6回実施要項（抜粋）

### 大会役員

大会顧問	鈴木 勲	公益社団法人日本弘道会会長、元文化庁長官
	野口 芳宏	植草学園大学名誉教授
大会会長	大平 恵理	一般社団法人日本書字文化協会代表理事・会長
大会副会長	肥田 美代子	公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長
運営委員長	渡邊 啓子	一般社団法人日本書字文化協会副会長・事務局長

### 大会事務局

書文協本部（大会事務局）  
〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6 丸由ビル3階  
電話 03-6304-8212 FAX03-6304-8213  
E-mail info@syobunkyo.org  
ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

### 初めて参加される方の事前参加登録制と出品券の発行

初めて参加される方は個人別事前参加登録用紙をご提出ください。出品券が発行されます。これを毛筆作品は出品票、年賀はがき作品は年賀はがき清書用紙（書文協製）の所定欄に貼って出品してください。出品目録は不要です。出品券のお名前の字体が賞状名前印字の基となります。既参加は出品券をご請求ください。

### 参考手本、年賀はがき清書用紙の発売

参考手本は書き初め（毛筆、A3に縮小）は1枚100円、年賀はがきコンクール応募用紙（硬筆実寸大）は1枚30円で販売します。上記参加予定申込書にてご請求下さい。手本は評価の観点とともにホームページで公開されます。園・

学校応募には無料特典があります。参加予定申込書にてご請求下さい。手本は評価の観点とともにホームページで公開されます。園・学校応募には無料特典があります。

個別大会名	部門	団体出品・出品料		個人出品料
年賀はがき コンクール	硬筆 指定課題の部	幼・小・中	428 円	1,296 円 (学年に関わらず)
		高・大・一般	732 円	
学生書き初め 展覧会	毛筆 指定課題の部 自由課題の部	幼・小・中	540 円	
		高・大	907 円	

※団体が応募する場合、出品料の支払い合計が 3,000 円に満たない場合は、1,000 円をプラスしてください。例えば、年賀はがき中学以下 5 点 2,140 円、学生書き初め展の中学以下 1 点 540 円、合計 2,680 円の場合、総額は+1,000 円で 3,680 円となります。手数料、送料の一部とするものです。

※個人応募の方も＜参加予定申込書＞にて、出品手続き用書類、参考手本、年賀はがきコンクール清書用紙をご請求ください。

### 振 込 先

名義 一般社団法人日本書字文化協会

記号 00130-1 番号728113

### 各コンクール共通（賞は予定を含む）

＜特別賞＞ 文部科学大臣賞、名誉大賞、大賞、中央審査委員会賞、日本書字文化協会会長賞、文字・活字文化推進機構理事長賞、小・中・高校長会会長賞、全日本書写書道研究会会長賞、中央審査委員長奨励賞、日本書字文化協会賞、文字・活字文化推進機構賞、全日本書写書道教育研究会賞、教育特別奨励賞

＜本賞＞ 優秀特選、特選、金賞、銀賞、銅賞

＜総合賞＞ 伝統文化大賞 そのグランプリは文部科学大臣賞

全ての参加者に賞状が出ます。出品者の氏名は事務局でコンピュータ印字することが可能です。希望の団体は応募時に1人30円分の印字代を添えてお申し込みください。氏名は出品券と同一になるため、個人別事前参加登録用紙を正確に記入してください。書体はご希望に添えない場合もありますが、あらかじめご承知おきください。

### 表装、記念アルバム受付

書文協では書作品を飾り多くの人に見てもらう作品化を奨励しています。このため毛筆作品は表装、硬筆作品はアルバム作成を受注しています。応募作品は原則として書文協に帰属しますが、作品化希望者は例外とするものです。表装には紙表装と本表装があります。記念アルバムは作品のほか賞状のレプリカ、本人の写真が貼られます。複数のアルバムを希望の場合は、2冊目からは複写作品となります。アルバムにはアルバム立てが付きますので教場の作品展にも最適です。価格、応募締め切り日は、結果発表の際にお知らせします。表装、アルバムは学びの足跡を残す記念ともなります。皆さんご注文ください。

### ダウンロードできる文書

申し込み用紙はホームページからダウンロードできます。ホームページ最初のページの写真の下にある横長タスクバーの左から2番目「大会」にカーソルを当てると、関連項目がスクロールされます。その中の伝統文化大会をクリックしますと実施要項が開きます。その最後に「ダウンロードはこちら」の項目があり、以下の文書がダウンロードできます。

- ◇参加予定申込書\_園・学校用
- ◇参加予定申込書\_塾・個人用
- ◇応募総括用紙
- ◇応募総括用紙\_個人用
- ◇応募明細用紙
- ◇個人別事前参加登録用紙
- ◇毛筆出品票
- ◇応募要項
- ◇課題一覧

## 中央審査委員会一覽(平成 29 年 9 月現在)



小森 茂  
顧問  
前青山学院大学教授  
元文部科学省教科調査官



蓮池 守一  
顧問  
元全国連合小学校長会  
会長



加藤 東陽  
審査委員長  
元文部科学省教科調査官  
東京学芸大学名誉教授



辻 眞智子  
審査副委員長  
聖心女子大学講師  
文教大学講師



青山 浩之  
横浜国立大学教授



加藤 泰弘  
東京学芸大学教授  
文部科学省教科調査官



柴田 五郎  
元東京都小学校書写研究  
会会長



長野 秀章  
東京学芸大学名誉教授  
元文部科学省教科調査官



西村 佐二  
元聖徳大学大学院教授



宮澤 正明  
山梨大学大学院教授

## 第3回書文協臨書展実施要項

多摩川上流・鶉の瀬溪谷（東京都青梅市沢井）に、日本寒山寺という無住の寺があります。昭和の初期、中国・江蘇省の著名な禅寺、寒山寺の希望を受けて、地元篤志家らが創建しました。寒山寺にある漢詩「楓橋夜泊」の碑文、鐘つき堂も蘇州と同じ姿であります。この臨書展は、隣国の文化を理解する格好の場所としてこの地を知っていただくことを願っています。また、中国の古典を書く臨書は書を学ぶ人の基本でもあります。どんどんご応募ください。

第3回臨書展は下記の通り臨書の部と楷書筆写の部に分かれます。漢詩「楓橋夜泊」は臨書の部の常設課題とします。

その上で、日本の教育漢字で育つ小学生も参加しやすくするために楷書筆写の部を設けました。この漢詩の中から教育漢字にある10文字を、書文協会長・大平恵理が手本として揮毫しました。臨書に触れる一歩になることを期待しています。

**主催** 一般社団法人日本書字文化協会

**後援** 東京都青梅市日本中国友好協会  
中国書法学院  
蘇州・寒山寺 中国国立南京芸術学院 蘇州呉昌碩研究会

**作品募集** 平成30年3月1日～3月26日（月）必着

**応募資格** 全部門とも年齢不問

### 部門

◆**臨書の部（1）** 用紙は半切ないし八ッ切。課題は高校書道教科書臨書素材と

して掲載されているものから選んでください。20文字以上。出品票には教科書名、原文を記すこと）

◆**臨書の部（2） 常設課題** 張継作「楓橋夜泊」寒山寺碑文臨書  
字体は変換可

月 落 烏 啼 霜 滿 天  
江 楓 漁 火 對 愁 眠  
姑 蘇 城 外 寒 山 寺  
夜 半 鐘 声 到 客 船

◆**楷書筆写の部** 半紙ないし八ッ切

・ **1字** 次のうちどれか1文字

月 滿 天 楓 漁 火 城

・ **2字** 漁火

・ **3字** 寒山寺



日本寒山寺

大賞は臨書の部（1、2）から1点

**手本** 指定課題の部は漢詩・楓橋夜泊の拓本をA3判に複写したものを、楷書漢字の部の手本（大平恵理揮毫）はA4判で計9枚。手本はいずれも1枚当たりA4判100円、A3判200円。希望者は送料100円を加えた相当額分の切手を添えて、書文協本部臨書展係りに申し込んでください。

**出品方法** ①作品に出品票を貼付する（出品票には出品券を貼付）  
②応募総括用紙、応募明細用紙を添付  
※①②は書文協ホームページからダウンロードまたは、書文協にご請求。

※出品料をお振込みの上、その受領証またはコピーを応募総括用紙に貼付して下さい。

**出品料** 臨書の部は1点1,000円（幼児・小中学生は700円）  
楷書書写の部 同700円（幼児・小中学生は500円）  
個人出品は一律1点1,296円

**振込先** 一般社団法人日本書字文化協会  
記号00130-1 番号728113

**賞** 大賞（臨書の部から）、中央審査委員会賞、書文協会長賞、青梅日中友友好協会会長賞 ほか

**審査員** 加藤東陽（書文協中央審査委員会委員長、東京学芸大名誉教授、日本武道館書写書道審査リーダー）  
加藤堆繫（同委員会委員、東京学芸大学教授、文部科学省教科調査官）  
大平恵理（日本書字文化協会会長）

**結果発表** 同4月末日、書文協機関紙5月号、ホームページ

**優秀作品展** 同5月23日（水）～27日（日）予定  
澤乃井ガーデンギャラリー  
東京都青梅市沢井2-770 小澤酒造株式会社  
電話 0428-78-8215

**作品提出先** 〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6  
丸由ビル3階、書文協本部（29年12月からの移転先）  
電話 03-6304-8212 FAX03-6304-8213  
書文協ホームページ <http://www.syobunkyo.org>  
（電話番号、アドレスは変わりません）

**ご挨拶** 渡邊啓子 臨書展実行委員長（書文協副会長）



漢字は3300年前、古代の中国で生まれ3世紀ごろ日本に伝来しました。文字を持たなかった日本民族は、漢字から仮名を生み出し、漢字・仮名交じりの日本語が出来上がったのです。日中はまさに同文の隣国なのです。また、臨書は書写書道の大事な学びです。

日本寒山寺を抱く沢井の地を舞台に、臨書の楽しさを体験してください。開

# 申込表 (FAX 03-6304-8213)

郵送も可

催にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

団体名 \_\_\_\_\_ 団体責任者 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ (携帯) \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

商品受取希望日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_



## 「えんぴつ・ペン文字練習帳 1~7」

練習帳 No [ \_\_\_\_\_ ] 600 円 × \_\_\_\_\_ 冊 × 1.08 = \_\_\_\_\_ 円

吉見出版からも購入できます。会員の方は別途割引があります。お問い合わせ下さい。

## 「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」

855 円 (950 円 × 0.9) × \_\_\_\_\_ 冊 × 1.08 = \_\_\_\_\_ 円



## 「ドラえもん きれいな字が書ける」

765 円 (850 円 × 0.9) × \_\_\_\_\_ 冊 × 1.08 = \_\_\_\_\_ 円

## 「脳活ペン字練習帳」

666 円 (740 円 × 0.9) × \_\_\_\_\_ 冊 × 1.08 = \_\_\_\_\_ 円

## 「続・脳活ペン字実用練習帳」

666 円 (740 円 × 0.9) × \_\_\_\_\_ 冊 × 1.08 = \_\_\_\_\_ 円



合計 \_\_\_\_\_ 冊 \_\_\_\_\_ 円



### ※送料について

梱包代・送料はご負担いただきます。1冊の場合は100円。  
それ以上は納品書・請求書に記載いたします。詳しくは本部  
事務局とご相談ください。

### ※お支払いについて

商品到着後1週間以内に、同封されている郵便振込票にてお支払いください。  
ご不明な点は、書文協本部(03-6304-8212)までお問い合わせください。

注文受付者		出庫者		発送日		納品書番号		送料	¥
-------	--	-----	--	-----	--	-------	--	----	---

備考	団体番号	送付日	月 日
----	------	-----	-----